

コレ、ヨシ。逸品。

高取伊好これよしが愛した選りすぐりの名品の里帰り



青磁染付寿字桃宝尽文雲形大皿  
肥前 鶴島藩窯 / 1690-1730年代  
佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 高取家コレクション

# 一日だけの高取家コレクション展

旧高取邸

「一日だけの高取家コレクション展」 11/20(月)

肥前の炭鋳王 高取伊好の邸宅を会場に、九州陶磁文化館に寄贈された高取家コレクションの中からセレクトした名品を、一日だけ特別に展示します。

- ・特別な展示を、特別な空間でお楽しみください。
- ・入場の際、人数制限がございます。  
(10時より1時間毎に20名様ずつご案内します。時間指定入場券をご購入ください)
- ・時間指定入場券のご購入は唐津駅総合観光案内所または専用サイトをご利用下さい。
- ・九州陶磁文化館学芸員による解説、質疑応答も予定しています。



チケット購入はこちらから

旧高取邸(国指定重要文化財)  
唐津市北城内5-40 / 10:00~17:00

観覧料 3,000円

[旧高取邸]一日だけの高取家コレクション展  
+  
[旧大島邸]入館料+呈茶サービス

旧大島邸

「唐津白磁と椿展」&  
「高取家所蔵茶器でのお呈茶」 11/18(土)-20(月)

唐津銀行を設立した大島小太郎の邸宅を会場に、「唐津白磁と椿展」と「高取家所蔵の茶器を使ったお呈茶」サービスを実施します。

「お点前披露」11月20日(月) 11時と15時の2回、

唐津に縁の深い宗徧流の作法による高取家所蔵の茶碗でお点前披露。

旧大島邸  
唐津市南城内4-23 / 9:00~17:00

入館料 100円 / 呈茶料 1,000円

お呈茶を受ける方のみ

第3回 佐賀県アーツコミッション「文化講演会」 11/20(月) 旧大島邸 13:00~14:30

佐賀県アーツコミッションは、県内外の様々なアーティスト等文化芸術関係者の活動をさらに発展させ、地域づくりに活かしていくために、様々な(場所・人・モノ)を繋ぎ、新たな文化シーンを県内各地で創出していきます。

クロストーク「唐津焼などの文化資源をどう観光に活かしていくのか」

佐賀県九州陶磁文化館 館長 鈴田由紀夫氏・東京大学総合研究博物館 特任教授 洪 恒夫氏・じゃらんリサーチセンター センター長 沢登次彦氏

※先着順。満員の場合、入場を制限することがあります。

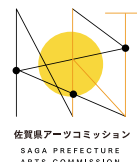
関連イベント

唐津市教育委員会企画展「唐津のなかの唐津焼」 10/21(土)-11/19(日)  
会場 / 唐津市近代図書館 唐津市新興町23 (休館日 月曜日・11月1日(水)・3日(金))

第11回 唐津窯元ツーリズム 11/18(土)-19(日) 場所 / 唐津市内

主催・お問合わせ / 一般社団法人唐津観光協会 0955-74-3355 info@karatsu-kankou.jp

共催 / 唐津市 協力 / 佐賀県アーツコミッション・茶道宗徧流 唐津支部



## 旧高取邸について

旧高取邸は、唐津城本丸西南の海岸沿い松林に囲まれた約2,300坪の広大な敷地に佇む壮麗な近代和風建築で、平成8(1996)年に高取家から唐津市に寄贈されました。

平成10年に「旧高取家住宅」として国の重要文化財に指定され、平成19(2007)年から一般公開されています。

この邸宅は、佐賀県内各地の炭鉱経営に携わった高取伊好これよしが明治38(1905)年に建てた自宅兼迎賓館で、皇族や政財界の要人、文化人を迎えて半ば公的な行事を行う場所でもあり、茶室、能舞台も備えており、大小の会議、式典、饗応のほか、茶会や能楽会、漢詩、書の勉強会なども行われていました。



たかとりこれよし

### ◆高取伊好略歴

嘉永3(1850)年 多久の儒臣 鶴田ひとし斌の三男として生まれ、9歳で姉の嫁ぎ先であるである佐賀市水ヶ江の高取大吉の養子となる。

多久藩の東原庵舎や佐賀藩弘道館で学んだ後、明治4(1871)年に上京し、慶應義塾へ進み、英学、鉱山学を学んだ。卒業後、官費学校「鉱山寮」に入学、採炭技術を学んだ後、工部省に採用され、高島炭鉱に赴任。

長崎・佐賀の炭鉱開発を行い、高島炭鉱取締役、多久市の柚ノ木炭鉱の開発を手掛けたのち、1909年杵島炭鉱を買収し大規模開発に成功。肥前の炭鉱王と呼ばれた。

### ◆高取家コレクションについて

高取家コレクションは、唐津の旧高取邸で高取伊好氏と夫人の志那氏、子息の九郎氏の頃に用いられた陶磁器である。内容は、肥前磁器を中心に、備前や京焼など国内各地の陶磁器に加え、中国、朝鮮、ベトナム、ヨーロッパの陶磁器まで多彩な顔触れであり約3,500点に及んでいる。九州陶磁文化館に昭和6(1994)年、平成19(2007)年、令和元(2019)年の3度に亘って寄贈された膨大な数のコレクションである。



鉄絵蒲公英英文茶碗  
肥前/1590-1610年代  
佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 高取家コレクション



## 旧大島邸について

旧大島邸は、明治18年に佐賀銀行の前身となる唐津銀行を創立し、その後、鉄道敷設や市街地の電化、唐津港の整備など唐津の近代化に大きく貢献した大島小太郎(1859~1947)の旧宅。現在の場所から西に300メートルの場所に建っていましたが、隣接する小学校の増改築に伴い解体移築されました。母屋は明治26(1893)年ころの建築と考えられています。